



2021年11月10日

各 位

会社名 株式会社ヨコオ  
 代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之  
 (コード番号6800 東証第1部)  
 問合せ先 取締役兼執行役員専務 深川浩一  
 (TEL 03-3916-3111)

2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異  
並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関して、下記のとおりお知らせします。

記

1. 第2四半期連結累計期間(2021年4月1日~9月30日)の業績予想値と実績値との差異

	前回発表予想(A) (2021年8月3日 公表)	今回実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%)	(ご参考) 前年同四半期累計実績 (2020年4月1日~9月30日)
売上高(百万円)	32,000	30,969	△1,030	△3.2	27,111
車載通信機器	20,300	18,843	△1,456	△7.2	15,474
回路検査用コネクタ	7,200	7,540	340	+4.7	6,828
無線通信機器	4,500	4,585	85	+1.9	4,808
営業利益(百万円)	2,400	2,003	△396	△16.5	2,049
経常利益(百万円)	1,850	2,202	+352	+19.0	1,716
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,350	1,526	+176	+13.1	1,272
1株当たり四半期純利益 (円銭)	58.36	66.86	—	—	62.69

2. 通期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想の修正

	前回発表予想(A) (2021年5月14日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%)	(ご参考)前期実績 (2021年3月期)
売上高(百万円)	65,000	66,000	+1,000	+1.5	59,976
車載通信機器	41,000	40,000	△1,000	△2.4	37,292
回路検査用コネクタ	14,500	17,000	+2,500	+17.2	13,242
無線通信機器	9,500	9,000	△500	△5.3	9,441
営業利益(百万円)	5,800	5,000	△800	△13.8	5,179
経常利益(百万円)	5,250	4,900	△350	△6.7	5,320
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,850	3,450	△400	△10.4	3,818
1株当たり当期純利益 (円銭)	174.67	148.00	—	—	184.55

### 3. 理由

#### (1) 第2四半期連結累計期間

売上高については、回路検査用コネクタセグメントが想定を上回ったものの、車載通信機器セグメントにおいて各自動車メーカーによる想定以上の減産の影響を受けて受注が減少したことなどにより、予想値を下回りました。

営業利益については、回路検査用コネクタセグメントの増収に伴う増益に加え内製比率引き上げによる利益率上昇などがあったものの、車載通信機器セグメントにおける減収に伴う減益及び海上運賃の高騰などによる想定以上の物流費増、自動車メーカーの挽回生産に備えた生産体制維持などにより、予想値を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、円安による為替差益 176 百万円の計上（前回予想時は為替差損等営業外費用 550 百万円の見込み）などにより、予想値を上回りました。

#### (2) 通期

売上高については、当第2四半期連結累計期間の実績及び第3四半期以降の受注見込みを踏まえ、前記2. のとおり修正します。

営業利益については、回路検査用コネクタセグメントにおいて増収に伴う増益が見込まれるものの、車載通信機器セグメントにおいて海上運賃の高騰などによる当初想定以上の物流費増、原材料価格上昇が継続し、営業損失が見込まれることに加えて、無線通信機器セグメントにおいても減収に伴う減益が見込まれることから、前記2. のとおり修正します。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、為替差損等営業外費用 100 百万円を見込み、前記2. のとおり修正します。

なお、想定為替レートは、本年11月以降当期末まで1米ドル=110円（前回予想時は1米ドル=105円）に修正しています。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上